

# 【沖縄コーヒーサミット 2020】開催報告

作成：2020年2月17日

作成者：一般社団法人沖縄コーヒー協会  
沖縄コーヒーサミット実行委員会

日時：令和2年2月16日 AM10時～PM5時まで ※雨天決行  
内容：沖縄コーヒー栽培の普及、啓蒙活動。沖縄の生産者と台湾生産メーカーとの  
意見交換、珈琲愛好家の集い  
場所：国立琉球大学 文系講義棟 1.2階  
来助者数：715名（関係者除く）  
天候：曇りのち大雨 夕方は時々曇り

## 1、「生産者会議」 AM10時30分～12時（90分）

場所：文系講義棟会場A（2F/215教室 大講義室）

時間：10:30～12:00

司会：永峯さゆり（沖縄コーヒー協会 事務局長）

コーディネーター：荒川雅志教授（琉球大学 国際地域創造学部・医学博士）

講師：台湾のコーヒー専門家 華偉傑氏、ウヤギー沖縄会長 近藤正隆氏、  
沖縄コーヒー協会会長 田崎聡氏

新型コロナウイルスの影響のため、ベトナムからの外国講師と中国からの外国講師は来沖することができありませんでしたが、台湾からの外国講師、華偉傑氏に登壇していただきました。

### 【外国講師紹介】

華 偉傑氏 47歳 台湾

役職：自分のオリジナルコーヒーブランド「KA-VULUNGAM COFFEE」の代表

イギリス ノッティンガム・トレント大学 (Nottingham Trent University)

政治マーケティング(Political marketing)博士

コーヒー製造の展示と販売の工場建設を開始。

「コーヒー観光工場」を稼働させ、コーヒーツーリズムを展開。

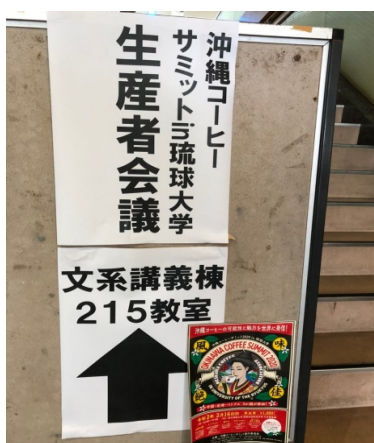
全国のコーヒー生産者及びコーヒーに関する関連企業、焙煎家の方々、そして、コーヒーに興味のあるコーヒー愛好家にとっても、アジアマーケットで活躍し、コーヒーのスペシャリティーコーヒーの資格を有する華偉傑先生が講演した「台湾のコーヒー事情」は、とても貴重なものでした。

沖縄コーヒー協会 顧問の近藤氏より「引きこもりニートとコーヒーの関係」の講義があり、特に福祉に特化した内容は大変興味深く、聴衆者も始めて聞く事実に驚きと共に関心が高そうでした。

そして、今回参加できなかったアジア諸国の「ベトナムと中国」講義のプレゼンテーション資料を会

長の田崎氏が代読、説明し、参加者にはアジア全体のコーヒーの主要国の生産やその諸事情などが具体的に理解できたと思います。

沖縄コーヒー協会 会長田崎聡や、コーディネート役の国際地域創造学部ウェルネス研究部の荒川雅志教授（医学博士）がコーディネートを務められ、講義の内容も多岐にわたり、どんどんテンポよく講義が進められ、短時間に内容の濃い講義が進められ、参加者の皆様は大変満足した表情でした。



## 2、「トークライブ」 PM13時30分～15時（90分）

場所：文系講義棟会場A（2F/215教室 大講義室）

時間：13:30～15:00

司会：永峯さゆり（沖縄コーヒー協会 事務局長）

コーディネート：沖縄コーヒー協会 会長 田崎聡氏

講師：宮出珈琲園(徳之島) オーナー宮出博史氏

ウヤギー沖縄会長 近藤正隆氏

奄美諸島の徳之島でコーヒー栽培を行っている、宮出珈琲農園の宮出博史さんに登壇していただきました。珈琲栽培をはじめて4年目、2500本になったコーヒーの木が、台風によって全滅してしまった宮出さん。それでもなお、「コーヒー作りは、育てていた畑が全滅してからハマった」と語る宮出さんの農園では、10年という歳月を経て、ようやく300本の収穫までたどり着いたと言います。宮出農園で栽培している、無施肥、無農薬で栽培収穫したコーヒー豆(定温熟成のイエローブルボン 100%singleorigin)や、自ら研究し、コーヒーのくず豆を利用して作り出したニューコンセプトコーヒー(くず豆ブレンド)のお話はもちろん、コーヒー栽培の苦労話など、コーヒーに関する濃いエピソードを話していただき、会場はすごく盛り上がりました。





### 3、「おいしい淹れ方教室」 AM11時~/PM13時~/PM16時～

時間：11:00~/13:00~/16:00～

場所：会場内 114 教室 中講義室

講師が急遽変更となり、ご出店者でもある那覇・松山の「THE CORNER COFFEE & BEANS」のバリスタ・末吉翔伍さんに講師を務めていただきました。彼は、琉球大学の卒業生でもあり、都内のスターバックスやカフェなどで経験を積み、沖縄に戻り、今では立派なバリスタとなって、沖縄で、第一線で活躍している人材です。末吉さん曰く、「味の好みや豆の違い、抽出方法などコーヒーの楽しみ方はさまざま。楽しみ方のひとつとして参考にしてほしい」と説明。ペーパードリップ抽出の実演では、写真や動画を撮影する参加者の人だかりができるほどの盛況でした。

THE CORNER COFFEE & BEANS の情報はこちらから↓↓

<https://www.instagram.com/thecornerokinawa/...>



※バリスタの手元に注目するため  
末吉講師の周りに参加者が集まる

#### 4、「植木市」

場所：国際地域創造学部 文系講義棟の芝生付近にて

時間：10:00～17:00（一日中）

国産コーヒー生産者の皆様が、自慢のコーヒー苗を、サミット価格（格安）で販売しました。苗木は3つのサイズから選ぶことができました。ポッドに入った小サイズの苗木と、30～40センチの中サイズの苗木、そしてコーヒーの実がついた大サイズの苗木の3サイズ。種類は全て、アラビカ種のムンドノーボとイエローブルボン（ブルボン種）でした。

寒い中、外で開催していた植木市でしたが、多くのお客様に苗を購入していただきました。また、栽培方法や就農についての相談も受け付けていたので、参加者の皆さんと生産者の方の交流する機会もつくることができました。販売のために会場に来てくれた、コーヒーの生産者の宮城さんの説明を聞いている人が何人もおり、宮城さんからコーヒーの育て方などの話を聞き、安心してコーヒーの苗木を購入しておりました。開店当初、すぐにコーヒーの苗木だけを持って、車へ帰る人までいました。植木市が大盛況の一日でした。



#### 5、ミニコーヒーフェスティバル AM10時～PM17時

（出店リスト）

- ・「ガリレイフクシマ株式会社」
- ・「焙煎工房ゆうばんた珈琲」
- ・「THE CORNER」
- ・「こはるびより」
- ・「株式会社ピィアイシィ・バイオ(MUSCLETECH Japan の日本総合代理店)」
- ・「宮出珈琲園」
- ・「あぐる珈琲」

- ・「株式会社ココブロス」
- ・「fisherman's coffee」
- ・「NPO法人ウヤギー沖縄」
- ・「独立行政法人 JICA 沖縄」
- ・「NPO法人食の風」  
(キッチンカー)
- ・「六屯-ロットン」
- ・「パーラーねこじた」
- ・「HIDEOUT OKINAWA URUMA」
- ・「mattofoodtruck (マッドフードトラック)」
- ・「ビストロマサカド」
- ・「PIN-GORI diner」

### 開催の内容は以下の通り

開場前に 200 名ほどの列になり、開場の 20 分前に入場してもらいました。開始と同時に、すぐに場内に人が溢れるほどの大盛況ぶりでした。構内での出店の方は、焙煎工房ゆうばんたコーヒー、THE CORNER、あぐろ珈琲などのコーヒー専門店では、一日中、列が途切れませんでした。コーヒーに合う、スイーツを販売する「こはるびより」もほぼ完売に近い売れ行きでした。宮出珈琲園（徳之島）は一杯の単価が比較的高額でしたが、多くの珈琲愛好家が集い、生産者の話を聞きながら、100%徳之島産のコーヒーを愉しんでいたようです。

さらに、ウヤギー沖縄のコーヒーリーフ茶と果肉のお茶は、お客様にとっても興味を持ってもらったようで、ウヤギー沖縄 会長の近藤さんは、説明にずっと追われていました。

食の風ブースは、コーヒー関連グッズの販売を行い、中でもジュートバッグの売れ行きが、良かったようです。さらに、グッズ販売ブースには、お客様が常について、食材検定などの告知に興味をもつ方も多く、また各種の食育の関連書籍も人気があったようです。今回の参加者のみなさまには、「沖縄コーヒー」のロゴデザインがとても素敵だ」と多くの方より好評を得ました。

広場のキッチンカーの様子は、当日は午前中の天気は良く、午後に比べると暖かい気温でしたので、10時の開場時間の前からお客様が集まり始めました。販売コーナーは、10時から営業を開始。人でいっぱいになった会場内と違って、キッチンカー周辺は買い物をするお客様が少なく、比較的のんびりした雰囲気でのスタートでした。その中で、ビストロマサカドの販売していた小さな「あげぱん」などは、軽食を好むお客様が多く、人気でした。家族連れのお子様は、会場内より、外の芝生で遊びまわり、パンを食べている姿が印象に残りました。11 頃半頃、雨が降ってきて、すぐに土砂降りになり、気温が急に下がりました。やはり雨が降り始めると、客足も減り、徐々に入場者も収まり、構内でじっくり講演を聞く参加者の数が増え、構内は一日中大盛況にて終了しました。

一般参加のお客様の声として、「次回開催時は、入場券＋試飲券があると嬉しい」などの声が多くありました。また、各地のお店のいろんなコーヒーの試飲がしたい。との声が多かったです。以上



